

## SNSの功罪

私の携帯はガラ携です。しかし、今後、この携帯のような二つ折りタイプは生産が中止されることから、しきりに電話会社が、スマートフォンに切り替えるよう説得が続いています。いろいろな値段交渉のプランや説明時間の確保等、電話が絶えません。仕方がないので、明日に話を聞くことにしました。

スマートフォンにすると、使い方を身に着けるまできっと時間がものすごくかかるので、非常に憂鬱です。が、きっと切り替えることになるかもしれません。

SNSの世界に私も船出をするのでしょうか。ラインをしてくれる相手は今のところいません。しなければならなくなることははっきり言って苦痛です。

相手は、今までの何人かの知り合いでよいので、電話で済ませることにするつもりです。毎日毎時間スマホを見なければならなくなると、時間の無駄です。私には、そんなに時間が残されているわけではないのです。これより後、5千冊の本に出合えるかどうかの瀬戸際なのです。

年間250冊として20年間で5千冊です。きっとこれが限界ではないかとも思います。間違ってもう少し生きることができるのなら、後の時間は、音楽も聴かなければならないでしょうし、美術の世界にも踏み込んでみたいし、野球観戦や映画鑑賞の時間も必要です。

背中にカバンをしょって海外旅行にも行きたいし、日本の各地もうろつきたいし、東京や名古屋や京都、大阪などの都市で生活もしてみたいし、SNSはその方面で活躍させることはできるのでしょうから、最低限その意味で携帯することは可能性としてあると考えます。

それ以外の、人との交流は自分が目の当たりにするコミュニケーションが一番面白いので、それ以外は必要ありません。

今年の1年生学習合宿で、スマホを禁止にしてみたところ、遅刻ゼロ、忘れ物ゼロ、意見交換の活発化といったいい面がたくさんありました。だから、高校生の生活にも、スマホは必要がないのかとも思います。

スマホを最低限電話機能だけにして、難関大学に入ることのできた生徒は毎年何人かいます。

それくらいSNSは時間と記憶を相殺してしまうのです。

生徒の皆さん、もう一度、スマホのことを考えましょう。保護者の皆さん、もう一度お子さんと話し合う機会を設けてください。おねがいします。

